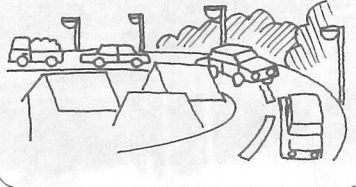


風土および青い空・白い砂・豊かな緑などの自然的要素を融合した色の「ペパーミントグリーン」を新たにまちづくりのイメージ・カラーと決めました。

## 将来像

基調テーマに描いた「まち」を実現するために、5つの将来像を目標としてまちづくりをすすめていきます。

### 1 地域活動を支え魅力ある空間を創造する「まち」



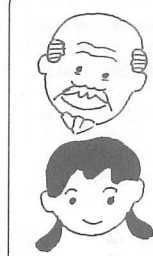
### 2 地域特性を基盤とした活力あふれる産業の「まち」



## まちづくりをめざす5本の柱



### 3 健康で心豊かなゆとりある「まち」



### 4 安全で快適な暮らしやすい「まち」



### 5 豊かな人間性あふれる教育文化の「まち」



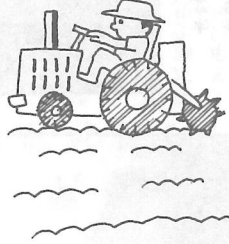
## 土地利用構想

## 合理的・効率的に推進

土地は、現在から将来にわたって、町民生活を支えるための貴重な基盤であるため、地域の特性に応じた合理的・効率的な土地利用を推進して、均衡のとれた町の発展を図っていかねばなりません。このため、都市的利用を図る市街地部分と、自然保全、農林業利用を図る農地や林地の区分を明確にしていくことを基本に、将来にわたる土地利用を推進していきます。

### 農地 住宅地

農地は、町の基幹産業である農業の貴重な生産手段であるため、優良農地を積極的に保全します。そして基盤整備を推進して、合理的な農地の利用を図っていきます。



駅を中心とした町中央部の既成市街地、および栗山から北清水に向かって広がりつつある進行市街地を、都市計画等により住宅地として整備を進めます。特に国道126号沿いの一帯は、中心市街地としての形成を図っていきます。

林 地  
開発行為との調和を図りながら、自然林を保全するとともに計画的な植林を行って、林地の確保に努めます。



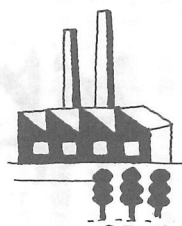
住宅地を縦に走る県道横芝上塚線

### 商業地

旧国道126号に沿った既存商店街については、魅力的で近代的な商店街への転換を図ります。国道126号沿線の新市街地についても、新たな商業核の形成を図ります。

### 工業地

計画的開発地区として、大総地域に横芝工業団地の造成をすすめます。また、既存の工業集積地区を中心に、工場の集約化を推進します。



### 観光レクリエーション地

町内の観光資源・レクリエーション施設などを有機的に結びつけ、町民の憩いとくつろぎの場をつくりあげていきます。

特に坂田池・城山一帯は、総合的な公園として整備を促進します。また、サケそ上や釣りの名所として知られている栗山川は、「町のシンボル」として十分に活用を図っていきます。